



福岡県小郡市大板井1143-1  
電話番号 0942-72-7221  
FAX 0942-72-7222



発行人  
こぐま福祉会「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



### 生活介護事業所べあクラブ

今月は、生活介護事業所の中の重心対応型「べあクラブ」の紹介です。

べあクラブに通所されているのは、十八歳以上の重度心身障害の方々です。医療的にも生活面でも大変なハンディキャップがある方々ですが、それをもとめせず、明るく元気にいろいろな活動や行事に取り組んでいます。日々の活動では仲間との交流を大事にしなが、充実した一日が過ごせるように、生活支援員や看護師、作業療法士、理学療法士も加わり、日常生活の支援、身体機能の維持・向上を目指した生活介護を行っています。

お花見・紅葉狩り・クリスマス会などの季節を感じられる活動や、こぐま夏祭りでの出店、キャンプ、ボウリング大会などの体験型活動に加え、「べあクラブ」の畑では、色々な野菜や果物を育て、収穫したものは皆で調理して楽しんでいきます。

普段あまり食欲のない方も調理体験で雰囲気が変わるためでしょうか、とても美味しく召し上がっています。

これからも利用者の皆様方の健康維持をはかるとともに、可能な限り自立を目指した訓練を取り入れながら、「充実した生活介護」を進めて参りたいと思います。

(サービス管理責任者 横尾)

心の窓



くわがたグループ  
うえだ 植田 莉心ちゃん



莉心は平成二十二年一月十九日に生を受けました。仮死状態で生まれましたが、蘇生を受け、息を取り戻しました。体も小さく、NICUで保育器に入った莉心は頑張つて生きようとしていました。先生から数日後に5P欠失症候群という障害であることを聞き、正直ショックでした。しかし、自分でも何か分らないですが、すぐに莉心の障害を受け入れることができませんでした。莉心は私達を選んで生まれてきてくれたと思つたからだと、少量のミルクを飲むこともできず、少量のミルクを飲み育ちました。体がある程度大きくなり、鼻にチューブを入れることと吸引ができるようになったら家に帰つてもいいということから毎日妻と頑張つたことを思い出します。家に帰つてきてからも鼻のチューブを外す、嘔吐を頻繁に繰り返して、少しでも目を離すことはできない日々でした。逆流を防ぐために五時間を超える噴門手術を乗り越え、胃瘻

となり、吐くことも劇的に減り、栄養を十分に取れるようになることで体も大きくなっていきました。色々経験させてもらい、莉心は五歳となりました。

こぐま学園に通いはじめて、同じように頑張っているご家族様と出会えたこと、我が子のように接していただく先生方に本当に感謝を致します。妻も明るくなり、莉心も少しずつですが、できなかったことができるようになったりと、ゆっくりですが成長しています。子煩悩ですが、私は莉心が大好きです。少しクセのある髪のリ心も、少し大きめの寝息をたてる莉心も、恥ずかしげもなく両足をあげる莉心も、おじさんのような大きなクシャミをする莉心も、メソメソと静かに悲しい顔で泣く莉心も、全てが可愛くてたまりません。一番は本当に嬉しそうに笑う莉心が大好きです。隣りで莉心の寝息を聞きながら安心し、莉心の笑顔に癒されて過ごしています。これからもグループで一緒にご家族様やこぐま学園の先生方にはお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。

新しい家族も増え、家族支えあいながら莉心の笑顔が絶えないよう、成長を見守っていききたいと思ひます。

(植田莉心の父)

こぐまLINE



作業療法士  
にしもり はるな  
西森 春奈

こんにちは、作業療法士の西森春奈です。「こぐま福祉会」に入職して二年目の冬がもうじき終わりそうです。早く春になってほしいなあ、としみじみ感じます。私は冷え性でこの時期はヒートテック、靴下二枚履き、腹巻：こんな装備をして毎日出勤します。それでも寒さを感じるのにはなぜでしょう。そんな私の事と心に響いた言葉を紹介したいと思ひます。

私は広島で生まれ、高校三年生まで家族と過ごしました。三歳前から音楽教室に通い、エレクトーンとピアノを習い始め、手が小さく指が短いという事で先生から手を広げられ、泣きながら弾き、練習漬けの日々でした。

小学生になると母が仕事に復帰し、学校から帰ると誰もいない：寂しさを紛らわすため、テレビをつけおやつを食べる習慣になり、何時にどの番組があるかテレビ欄を見なくても分かるまでになりました(笑)。

中学・高校の六年間は吹奏楽部に入部。楽器を吹きながらパフォーマンスをするマーチングもやっていたので体育会系のようなハードな練習で、グラウンドを走る、腹筋・腕立て等…。暇さえあれば吹奏楽のことを考えると毎日です。そのため高校二年生でピアノを辞めました。

小さい頃から将来の夢は変わらず、保育士か音楽に携わる仕事。大学を決める時に、夢を二つとも叶える！と決心し、福岡の大学を選択しました

両親共に県外に行く事を反対され続けましたが、最後は父から「自分の人生、好きにきなさい。その代わり、悩んだ時は誰でもいいから相談すること」と言ってくれました。そのおかげで、充実した日々を過ごし、小児の作業療法士として有名な先生の下で学ぶ事ができました。就職先を見つけた際、行きたい小児の施設がなく、熊本の病院で高齢者の方をリハビリしていました。病院でも小児リハがあつたので、小さな望みを抱いていましたが、二年経つてもできず…。どうしても小児リハがしたい！病院を辞める決意をし、縁あって、こぐま福祉会の一員になる事ができました。子どもたちと関わる中で、「できた！」というキラキラした笑顔、どんな表情もとっても大好きです。

最後に、父から教わつた【幸せの四原則】を紹介します。①愛される事。②褒められる事。③役にたつ事。④必要とされる事。

皆さんにとって幸せとは何ですか？私は生活する上で深く考えた事はありませんでした。しかし、この言葉を聞いて、私は幸せなのか、周りの人を幸せにできているのか、と自身自身を見つめなおすきっかけになりました。発信する表情・言葉って本当に大切で、自分の性格や言葉使い等、すぐに変えられないけど、皆さんが幸せだなど、感じられるような作業療法士を目指したいと思ひます。

2015 鏡開き

1月6日(火)に新年最初の行事である『鏡開き』を、こぐま学園・しろくま・ゆうの子どもたちと保護者の皆さままで行いました。

みんなで新年のご挨拶をして鏡開きが始まりました。毎年恒例になっている「お正月」という題名の職員劇では、役者になりきった職員の様子に、最初はびっくりしていたお友達も少しずつ慣れて、笑ったり、触れ合ったり、一緒に踊ったりと楽しい時間を過ごしました。鏡開きの後にみんなで食べたぜんざいはとってもおいしかったです。

今年は未年。群れをなす羊は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味しているそうです。

どうぞ皆さまにとって良い年でありますように。平和な1年になるといいですね。

(ゆう園長 林)



よいしょよいしょ、お餅よ動け!!



みんなで見たよ~☆



こぐまオリジナル鏡餅!

お正月あそびもやったよ♪

新年になり、福笑い・書初め・たこ作り・すごろく等のお正月のあそびを各グループで楽しんでいます!



今年の目標!!



自分で書いたよ♪



どこに貼ろうかなあ~

今年も  
みんなで  
頑張ります!!



就職  
できます  
ように



**就職祈願に行きました!**  
一月二十四日(土)、就労移行支援事業所 Work Step では、余暇活動の一環として太宰府天満宮へ初詣に行きました。  
行き先からタイムスケジュールまで自分で計画を立てました。今回、太宰府天満宮までは、こぐまのバスで移動しました。公共交通機関を利用した場合とバスでの費用を、それぞれ調べて必要経費が抑えられる方を選びました。当日は、土曜日ということで参拝客も多く混雑していましたが、みんな今年の目標を決め就職祈願をしました。  
参拝後は、おみくじを引き、参道ではお土産を見て回り、出来立ての梅ヶ枝餅も食べました。  
午後からは「正月気分を味わいたい!」ということで、Work Step へ戻りカルタ遊びをしました。このカルタは、就職をテーマにして自分で製作したものです。みんなで楽しみなながら就職について考える、良い機会になりました。今年も就職目指して、訓練を頑張ります。  
(生活支援員 久佐木)

# 愛らんどが新しくなりました！

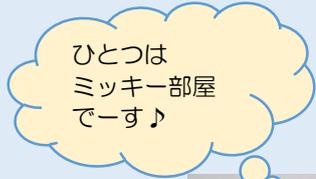
新しい建物は、無垢材を使用した木の温もりを感じる建物で、天井は張り見せの開放感ある空間が広がっています。よりよいサービス提供を行っていきたいと思います。  
(生活支援員 藤崎)



外観は人気のバイカラー★  
新しくなってHappy★



木の温もりのある内装です。



ひとつは  
ミッキー部屋  
でーす♪



広くなったので、利用者さんも  
リラックスして入れます。



広々としたスペースで車椅子も  
スムーズに入れます。



個室が4部屋あり、個別の対応  
が可能となりました。

地域支援だより

## まごんて

### 「障害児者もケアプラン」利用計画 が必要になります！」

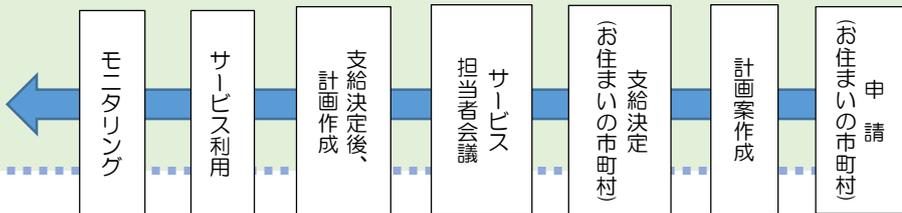
平成二十四年の法改正により相談支援の充実が図られ、平成二十七年度以降は障害児者の福祉サービスを利用する方全員に「障害児支援利用計画・サービス等利用計画」の作成が義務付けられました。

計画を立てる時期としては、新規にサービスを利用する時やサービスや区分の更新の時などになります。

これまでは、サービスをコーディネートする人がおらず、個々で探し問合わせしていた部分を、これからは相談支援専門員がその役割を担うこととなります。

一人ひとりの思いやニーズを形にしていくお手伝いができればと思っています。小郡近辺でも、随分計画相談が導入され、相談も増えてきました。皆様のお住まいの市町村にも相談支援事業所が増えつつあります。ぜひ、市町村の福祉課窓口へご相談下さい。

ご不明な点は、相談支援専門員までお尋ねください。  
(相談支援専門員 入部)



## 冬の感染症予防について

『冬の感染症』といえは

- ・インフルエンザ
- ・RSウイルス
- ・マイコプラズマ肺炎
- ・嘔吐下痢症など

冬の感染症で大切なのは予防です。冬の感染症予防の三大ポイント！

- ① 抵抗力をつける  
十分な栄養と睡眠を心がける。
- ② 免疫力をつける  
インフルエンザについては、できるだけ予防接種を受けましょう。抗体をつくり、重症化を防ぎます。
- ③ 感染経路をたつ  
外出後は、必ず手洗いとうがいをする。外出時は、マスクをする。人の集まる場所への外出を控える。換気をする。  
冬場のウイルスから身を守り、元気に過ごしましょう！  
(看護師 副島)

## 二月行事

- 十七日 (火) 就学学習会
- 十九日 (木) 避難訓練  
(交流保育)
- 十七日 (火) 味坂保育園
- 十八日 (水) 三国保育所
- 二十四日 (火) 天使幼稚園

